

2005年 1月22日(土)

会場◎京都芸術劇場 春秋座

前売開始◎2004年 10月29日(金)

主催◎京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

企画制作◎世田谷パブリックシアター

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 上演実験シリーズ VOL.18

子午線の祀り

Requiem on the Great Meridian

作◎木下順二.....Junji Kinoshita

演出◎観世榮夫.....Hideo Kanze

美術◎織田音也.....Otoya Oda

照明◎吉井澄雄.....Sumio Yoshii

音楽◎武満徹.....Toru Takemitsu

眼には見えぬ天の子午線を

月の女神が音もなく過って行くと

その真下で海は息づき始めようとする



平知盛◎野村萬歳.....Mansai Nomura

影身の内侍◎高橋恵子.....Keiko Takahashi

源義経◎嵐広也.....Hironari Arashi

20世紀の名作を
21世紀の
新作へと再生

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター上演実験シリーズ VOL.18

子午線の祀り

Requiem on the Great Meridian

出演◎
[五十音順]



戦後日本を代表する劇作家・木下順二は、「オイディプス王」以来のギリシャ悲劇の分析や、数多くのシェイクスピア劇の訳業等をつうじて、人間と人間を超える力が対峙する普遍的な〈ドラマ〉の問題を、たえず追求してきました。1979年の初演以来、6度の上演を重ねてきた「子午線の祀り」は、作者のそのような道程の、まさしく集大成といふべき作品です。「平家物語」を題材にしなが、近代日本語と古典語の融合や、伝統／現代のジャンルを越えた俳優同士の出遣い、さらには「群読」と呼ばれる独自の上演スタイルなど、さまざまな方法によって、「劇的なもの」の究極的なスケールを見定めようとするこの作品は、文字どおり、日本の〈近代劇〉の思想がたどりついたひとつの到達点でもあります。〈舞台芸術研究センター・上演実験シリーズ〉では、この作品がいまなお私たちに投げかけている数々の問いに、舞台を通してじかに向き合い、〈演劇〉とは何か、〈近代〉とは何かを、あらためて検証してみたいと考えています。

※「群読」とは、独白と俳優全員による合読とを自在に組み合わせ朗読する独特の様式のことです。『子午線の祀り』は、この「群読」を通してせりふと語り鮮やかに共鳴し、研ぎ澄まされた言葉が持つ荘厳な響きの深さ、美しさを確立した作品です。



公演日程◎
2004年
12月10日(金)～28日(火)……世田谷パブリックシアター
2005年
1月16日(日)……熊本県立劇場演劇ホール
1月18日(火)～19日(水)……北九州芸術劇場大ホール
1月25日(火)～30日(日)……大阪厚生年金会館芸術ホール

作◎木下順二
演出◎観世榮夫
美術◎織田音也
照明◎吉井澄雄
音楽◎武満徹
音響◎山本泰敬
◎岩田直行
技術監督◎眞野純
演出助手◎遠藤吉博
舞台監督◎稲葉对介
演出協力◎岡村春彦
◎小美濃利明
制作協力◎菅井幸雄

ものがたり

歴史上名高い源平の合戦。一の谷の合戦で源義経(嵐広也)の奇襲を受け、海へ追い落とされた平知盛(野村萬斎)は、この時、身代わりに討ち死にした息子・知章を見捨てて逃げ、愛馬を汀へ追い返すという、自ら思いもよらぬ行動を取る。武将となってはじめて自分に対して疑いを抱きつつ、平氏と源氏の和平をはかりとした知盛は、影身の内侍(高橋恵子)を京へ遣わそうとする。満天の星空の下、都で捕虜となっている弟・重衡の思い人である影身の内侍は、都行きを引き受けると同時に、意外にも知盛への想いを打ち明ける。

ところが、四国屋島に平家を迎えた豪族・阿波民部重能(木場勝己)が、帝の印である三種の神器を楯に主戦論を唱え、和平の使者としての影身を殺してしまう。知盛は平家滅亡を予感しながらも、三種の神器を返せば重衡の命を助けるという後白河法皇の過酷な要求を拒絶し、徹底抗戦の道を選ぶ覚悟を決める。

一方義経は、武藏坊弁慶(石橋祐)らの協力を得て屋島を背後から襲い、平家をふたたび窮地に追いこむ。頼朝から目付けとして遣わされた梶原景時(塩野谷正幸)と対立しながらも、義経を先頭に慣れぬ海戦に備えて勢いづく源氏。そしてついに、壇の浦の決戦の日となった。

2005年1月22日(土)

開演◎15:00 開場◎14:30 (終演予定◎19:30)

京都芸術劇場 春秋座

料金◎(全席指定・税込/当日各500円増)……

一般前売 S席8,000円 A席6,000円

学生&25歳以下前売 S席4,000円 A席3,000円

◎学生証もしくは年齢のわかるものをご提示ください。◎学生&25歳以下は劇場チケットセンターのみでの取扱いとなります。◎未就学児童のご入場はご遠慮ください。

前売開始◎2004年10月29日(金)

前売取扱◎……

京都芸術劇場チケットセンター……075-791-8240(平日10:00~17:00)

電子チケットぴあ……0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>

……0570-02-9966(Pコード357-456)

お問合せ◎京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

Tel 075-791-9437 Fax 075-791-9438

E-mail info@k-pac.org URL <http://www.k-pac.org/>

宣伝美術◎有山達也 宣伝写真◎久家清典 CG◎矢部弘幸メイク◎光倉カオル 衣裳◎松竹衣裳 かつら◎細野かつら房 小道具◎藤原小道具



京都芸術劇場 春秋座
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

交通アクセス◎
○JR「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
→京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸術大前」下車
(京都駅から約50分)
○京都市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から
→京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸術大前」下車(約15分)
○京阪電鉄「出町柳」駅から→叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分
○京阪電鉄「出町柳」駅から→タクシー10分
○駐車場はございません。